

木曽谷エクスカーション「木曽谷の自然と歴史遺跡探訪」

エクスカーションは、地域の歴史や社会資本施設、自然、地域の姿にふれながら、ガイドの説明、講演を聴き、学習を深めていく、地域体験型学習の一環として行っているものです。

今回は、木曽谷の四ツ目川遊砂工、桃介橋等を訪ね、福澤桃介に纏わる講演を行うなど、社会資本、歴史遺産、電力王の福澤桃介と木曽谷に纏わる体験学習を実施しました。

木曽川と国道19号に沿った中山道には豊かな自然に囲まれた数々の歴史遺跡があります。昔の姿を残す宿場町、当時の姿に復元された桃介橋、安土桃山の建造物など、魅力ある史跡が随所に残っています。

この地域は昔から土砂災害の多発地域で、いくつかの砂防防災施設と、明治の砂防堰堤など自然災害の怖さを学習し、災害を未然に防ぐための意識啓発や、社会資本整備を改めて考えて頂きました。

今回は、東濃地方を中心に往年の若人が集まり、小雨の中木曽谷の歴史遺跡、砂防防災施設を体験学習して頂きました。

にちじ 平成20年11月27日（水）
参加者 19名（木曽川沿いの地域 一般の皆様）

